

教育行政執行方針 (主な施策)

- ① 学校教育の充実
 - ・ ICT環境整備・校務情報ネットワークを活用した学校経営改善の推進
 - ・ 豊かな心・健やかな体の育成
 - ② 社会教育の充実
 - ・ 生き生きと学ぶ生涯学習の推進
 - ・ 芸術文化・スポーツの振興
- 執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



大谷元江議員

1 キャリア教育

問 各学校にキャリア教育推進の指導とはどういうことですか。

藤本教育長 中学校では職業体験というものがありますが、小学生では実際している活動、消防とか、デイサービスなどを見るのがキャリア教育になると考えます。



中央小学校の給食

2 学校給食の無料化

問 健やかな体の育成に関して、学校給食の無料化は考えていますか。

藤本教育長 現在のところは考えていません。

長谷川耿聰議員

1 執行方針全般

問 毎年内容が同じであることについて、教育長の見解をお聞きします。

藤本教育長 学習指導要領でしぼりはありませんが、今年目標として書かせていただいたています。

2 生涯学習環境の整備

問 技術を取得できる質の高い生涯学習環境の整備とはどんなものですか。

藤本教育長 公民館等を活用した中で、講師を呼んでお話し、説明をしていただいています。それをそれぞれの世代が、地域で活躍できる場を作るために役立てば良いかと考えて書かせていただきました。

3 社会施設の充実

問 社会施設の充実とはどんなものですか。

山本敬介議員

1 執行方針の重点項目

問 執行方針の項目がほぼ毎年変わらないということですが、今年は何に重点を置くのか、明確にするのは教育行政として必要だと思います。

藤本教育長 コミュニティスクールの占冠中学校、トママ小中学校への導入やタブレット端末の全学校導入を調査研究します。

また平成32年から小学校低学年の英語必須に向けて、小学校低学年から中学校までの9年間を通したカリキュラムを検討しています。

2 リスクマネージメント

問 防犯、ネットトラブル、データ管理、プールの安全管理などを項目化してはいかがでしょうか。今年はいじめ問題だけしか

入っていません。これらについて伺います。

藤本教育長 リスクマネージメントが甘いのではということですが、教育委員会の内部で担当とは細かな打合せをしています。

3 教育行政の独立性

問 首長部局との連携強化をしていくということですが、教育行政の独立性の担保について伺います。

藤本教育長 総合教育会議は村長が招集しますが、必ずしも市町村長が言ったことに教育委員会が従うということにはなっておりません。

4 世代ごとの社会教育

問 社会教育分野には、青少年、若年、男性、女性、高齢者それぞれ項目があり、中期計画に基づいて、こと細かな事業が行われています。これらが明記されていないことについて伺います。

藤本教育長 現在は学校教育と社会教育、その中にも子どもからお年寄りまでを含めた中で書いています。決して、扱わな

いとか、考えていないということではありませんので、ご理解願います。

5 スポーツ振興

問 少子化と人口減少で団体スポーツが難しい状況になっています。トマムのバドミントンやクライミングなど、個人競技で当村の地域性に合ったスポーツを、指導者の育成やレベルアップの具体的な施策、基盤整備も含めてやっていく必要があると思いますが、伺います。

藤本教育長 中央小学校の土



土曜学習（卓球指導）

曜学習で卓球を実施しています。占冠中学校では卓球で全国大会まで行ったことがあり、OBの方が指導してくれています。少人数でもできるスポーツに取り組んでいます。

6 保育所のあり方

問 教育行政が保育所も含めて、家庭教育から義務教育を一貫して担う事が必要ではないでしょうか。考えを伺います。

藤本教育長 現在も、保育所に英語指導助手が行ったり、公民館で読み聞かせを行ったり、家庭教育学級などがありますので、大いに協力しているとは思っています。

7 教育行政の独自性

問 いまトマムでは、地域の教育が不安で転出してしまいう事態が起こっています。こういう時こそ教育行政として、ぜひうちの村で教育を受けてくださいといった強い姿勢が求められています。再度伺います。

藤本教育長 次年度に向けて、新年度の予算も含めた中で、執行方針に反映させていきたいと思っています。

五十嵐正雄議員

1 キャリア教育

問 子ども1人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育ててまいりますとあるが、子どもたちの多様性や個性を育てるのが大事だと思います。

指導要領の改悪により国家観が前面に押し出され、村教育委員会の主体性が発揮されていません。

子どもたちや保護者、地域の人たちが理解できる執行方針が必要だと思います。

藤本教育長 議員が懸念されている方向については全然思っていないです。

学習指導要領にはキャリア教育に関してはこういった文言を使っていますが、今後は文章表現については精査していきたいと思えます。

2 コミュニティスクール

問 中央小学校で取り組んだ成果と課題があると思いますが、一言も触れられていません。課題・問題点が議論されない

まま取り組まれることは問題があると考えますが考えを伺います。

藤本教育長 これまでやってきた実績、今後の課題はあります。中央小学校の保護者にはアンケートを行い、学校だより等に載せています。

このように親の評価、先生の評価も出ており、今後に向けた取組みに生かしていきます。



学校だより

木村一俊議員

1 行政との連携強化

問 昨年の法制度の変更により、首長部局との連携強化が図

られているとありますが、連携がどのような点にみられ、またどのような効果が生まれているのかおたずねします。

藤本教育長 村長が総合教育会議を設置して招集されたのは昨年12月でした。村長の教育長当時の思い等を含めた中の教育目標等々がありましたので、その中身の確認と、ここはこう変えたいいいのではないかと思います。そのような協議を会議の中でしました。

教育についてのお互いの共通認識と理解を深めなさいという制度であると思えますので、学校の情勢とこれからの児童生徒のこと等々を含めた中で、村長部局と教育委員会とが考え方を共有できるように持っていければいいと思っています。